

Honda の中国現地法人である本田技研工業（中国）投資有限公司（本社：北京 総経理 井上勝史）は、2022 年 4 月 25 日現地時間 20 時 30 分（日本時間：21 時 30 分）に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします。

2022 年 4 月 25 日

<ご参考>

新型 EV 「e:NS1」を東風 Honda が発売 ～広汽 Honda の「e:NP1」も 5 月から予約受付を開始～

Honda の中国における四輪車生産販売合併会社である東風本田汽車有限公司（以下、東風 Honda）は、新型電気自動車（EV）「e:NS1（イーエヌエスワン）」を 4 月 26 日（火）に発売します。また、5 月には同じく四輪車生産販売合併会社である広汽本田汽車有限公司（以下、広汽 Honda）も新型 EV 「e:NP1（イーエヌピーワン）」の予約受付を開始します。



e:NS1



e:NP1

■e:NS1/e:NP1 について

中国初の Honda ブランド EV となる e:NS1 と e:NP1 は、独創、情熱といった Honda のものづくりの DNA と、最先端の中国の電動化・知能化技術を融合し開発した「e:N（イーエヌ）」シリーズの第 1 弾です。「心動 未体験 EV」をコンセプトとし、乗る人の心を揺さぶる新しい価値を数多く取り入れました。

走行性能では、さまざまな走行シーンにおいて瞬発的な出力と繊細な制御を両立する電動モーターや、510km の航続距離（中国 CLTC 基準）を実現する大容量バッテリー、専用のボディー骨格などで構築される「e:N Architecture F（イーエヌ アーキテクチャー エフ）」を新開発。さらにはスポーツモデルの開発で培った空力技術など Honda 独自の技術を注ぎ込み、Hondaらしいスポーティーで爽快な走りを追求しました。知能化技術では、中国で展開する最新のコネクティビティとして EV 専用の新世代コネクテッド技術「Honda CONNECT 3.0（ホンダ コネクト）」、15.1 インチの大型ディスプレイオーディオを標準装備しました。他にも、ドライバーのわき見などの危険行為や眠気などを検知し安全運転を支援するドライバーモニタリングカメラ（DMC）を設定するなど、安心・快適でスマートな移動空間を提供します。エクステリアデザインでは、フロントに発光する「H マーク」エンブレムを、リアに従来の H マークに代わる新たな「Honda」エンブレムを採用し、e:N の新たなアイデンティティを表現しました。

Honda は、e:NS1、e:NP1 を皮切りに、中国で 2027 年までに 10 車種の e:N シリーズを投入するとともに、販売、生産などバリューチェーン全体で電動化の取り組みを加速します。

■販売の取り組み：オンライン店舗の本格展開、ショールームの刷新



東風 Honda e:N ブランドコーナー



広汽 Honda 電動車専門店イメージ

e:NS1、e:NP1 の発売に合わせ、オンライン店舗を本格展開します。オンライン店舗では、一対一のダイレクト対話などにより検討から注文までをオンラインで実現するとともに、e:N の一触未来の世界にお客様をご案内し、全く新しい購入体験をお届けします。また、従来からのショールームも刷新します。広汽 Honda は、北京、上海、広州などを皮切りに電動車専門店の展開やショッピングモールへの店舗設置を開始し、東風 Honda は既存の全店舗で「e:N ブランドコーナー」を展開します。

■生産の取り組み：広汽 Honda、東風 Honda で EV 専用工場を建設

今後ラインアップを拡大する e:N シリーズを、質と量の両面から安定的にお客様にお届けするために、広汽 Honda、東風 Honda とともに、2024 年の稼働開始を目指し EV 専用工場を建設します。



東風 Honda EV 専用工場俯瞰図



広汽 Honda EV 専用工場俯瞰図

■本田技研工業株式会社 常務執行役員 中国本部長 井上 勝史のコメント

「今回、e:N シリーズの第 1 弾として、e:NS1 と e:NP1 を中国のお客様にお届けできることを大変嬉しく思います。Honda は EV 時代においても唯一無二のクルマづくりを信念とします。中国には既に多くの EV の選択肢がありますが、e:N は、その中でも別次元の気持ち良さ、楽しさを極める独自の価値を提供し、EV の楽しさを再定義します」

お客様からのお問い合わせは、「お客様相談センター0120-112010」へお願い致します。
いいふれあいを